

平成31年度(令和元年度) 北海道八雲養護学校 キャリア教育全体計画

目 ざ す 人 間 像	学 校 教 育 目 標	八 雲 養 護 学 校 の 「 志 」
・夢や希望を持ち、進んで学ぶ人 ・人とかかわりを大切にする人 ・体やいのちを大切にする人	自らの可能性を生かし、 心豊かに生きる人を育てる	・すきを見つける ・みんなとつながる ・からだをおもいやる ・なんでもたのしめる ・じぶんをしんじる

本 校 に お け る キ ャ リ ア 教 育 の 目 標
1. ライフステージや発達段階に応じた系統的な指導を行い、個々に応じた社会参加や自立に必要な態度や技能を身に付けることができるようにする。 2. 一人一人の児童・生徒が自分の良さと適性を意識し、それらを生かせる活動を主体的に決定できるようにする。 3. 社会生活を送る上で必要となる適切な意思表示の力や、場や状況に応じて適切に行動するための能力を育成する。 4. 健康管理や病気・障害に対する理解を促し、それらに対する適切な態度や技能を身につけることができるようにする。

各 学 部 段 階 の キ ャ リ ア 教 育 の 目 標		
小 学 部 段 階	中 学 部 段 階	高 等 部 段 階
進んで自分の力を発揮し、学ぶことができる児童を育てる。	個性やよさを伸ばし、将来の生活に必要な力を高められる生徒を育てる。	自分の持つ力や個性を発揮し、生き生きと充実した生活ができる生徒を育てる。

キ ャ リ ア 教 育 で 育 て た い 力			
八養版 社会人基礎力	1 段階（進路の探索・選択にかかる基盤整備）	2 段階（現実的探索と暫定的選択）	3 段階（現実的探索・試行と社会的移行準備）
行動力	○集団参加 ・大人や友達とのやりとりと集団活動への参加	◇協力・共同 ・集団における役割の理解と協力	・集団（チーム）の一員としての役割遂行
	○様々な情報への関心 ・身の回りの様々な環境への関心	◇情報の収集と活用 ・進路をはじめ様々な情報の収集と活用	・職業生活や社会生活に必要な事柄の情報収集と活用
	○やりがい ・意欲的な活動への取組	◇生きがい・やりがい ・様々な学習活動への自発的な取組	・働くことの意義の実感と将来設計に基づいた余暇の活用
道徳性	○挨拶、清潔、身だしなみ ・挨拶、身だしなみの習慣形成	◇場に応じた言動 ・状況に応じた言葉遣いや振る舞い	・T P O に応じた言動
	○社会資源の活用とマナー ・地域社会資源の活用と身近な決まり	・社会の仕組み、ルールの理解	
主体性	○意思表示 ・日常生活に必要な意思の表現	・社会生活に必要な意思の表現	・必要な支援を適切に求めたり、相談したりできる表現力
	○働く喜び ・自分が果たす役割の理解と実行	◇役割の理解と働くことの意義 ・働くことと社会生活に関する体験的理解	・働くことの意義と社会生活で果たすべき役割の実行
プランニング力 自己理解力 コミュニケーション力	○金銭の扱い ・体験を通じた金銭の大切さの理解	◇金銭の管理 ・消費生活に関する基本的な事柄の理解と計画的な消費	☆消費生活の理解 ・労働と報酬の関係の理解と計画的な消費
	○目標設定 ・目標への意識、意欲	・目標の設定と達成への取組	・進路希望の実現を目指した目標設定とその解決への取組
	○自己選択 ・遊びや活動の選択	◇自己選択（決定・責任） ・自己の個性や興味・関心に基づいたよりよい選択	・進路に関する学習、体験的な学習など経験に基づく進路選択
	○人との関わり ・自分や友達の良さへの気づき	◇進路計画 ・目標を実現するための主体的な進路計画 ◇自己理解・他者理解 ・達成感に基づく肯定的な自己理解、相手の気持ちや考え、立場の理解	・将来設計に結びつく進路計画 ・社会との関係における自己理解、他者の考えや個性の尊重
プラス思考 柔軟性 ストレス コントロール力	○振り返り ・活動の振り返り	◇肯定的な自己評価 ・活動場面での振り返りと次に生かそうとする努力 ◇自己調整 ・疾患、障害による困難さに対する支援技術の活用	・体験的な学習等に行った活動の自己評価 ・疾患・障害による困難さに対する支援技術の活用と習得
	○健康管理、病気・障害理解 ・学校、病院生活に必要な健康管理の習得	・自己の病気、障害等への気づきと健康管理の習得	・自己の病気、障害等の理解と健康管理の習慣形成

各 教 科 等 に お け る キ ャ リ ア 教 育 の 視 点				
各 教 科	道 徳	特 別 活 動	総合的な学習の時間	自 立 活 動
・成就感や達成感、自己有用感を育む授業を心がけ、将来の生活に必要な基礎的知識・技能の習得を図る。 ・学ぶ喜びを持ち、主体的に学習する生徒を育成する。 ・現在から将来の生活の視点を取り入れるとともに、各教科が連携して、広がりを持った知識・技能の習得を図る。	・自己が属する様々な集団の意義について理解を深め、集団生活の向上に努めようとする態度を育成する。 ・働くことの尊さや意義を理解するとともに、奉仕の精神を持って、公共の福祉と社会の発展に努めようとする道徳的実践力を育成する。	・生活上の諸問題の解決、組織作りや仕事を分担して活動することを通して、個人や社会の一員としての在り方、学校生活の充実や将来の生き方や適切な進路の選択に関することなどの指導の充実を図る。 ・学校生活の充実・改善向上を図る活動を通して、将来を設計する 能力や意思を決定する能力などを培い、個性の伸長や社会性を高める。	・学び方や物の考え方を身につけ問題の解決や探求活動に主体的、創造的、共同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えさせる。	・個々の発達や障害の実態に即した適切な指導を行う。 ・障害による学習上または生活上の困難を改善し、自立を図るために必要な知識や技能、態度及び習慣を育成する。

地 域 や 関 係 機 関 な ど 外 部 と の 連 携	保 護 者 と の 連 携
・本校の教育活動について広く知らせるとともに、児童生徒のライフステージを見通した連携に努める。	・学校から保護者に情報を提供し、児童生徒のより良い成長に向けて連携を深める。